



平成 19 年 8 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社 ナ イ ガ イ
 代表者名 取締役社長 林 勇 二
 (コード番号 8013 東証第一部)
 問合せ先 取締役スタッフ担当 油利 隆文
 (TEL 03-5822-3810)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 3 月 23 日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 1 月期中間期業績予想数値の修正 (平成 19 年 2 月 1 日～平成 19 年 7 月 31 日)

(1) 連結

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	18,000	△500	△400	△500
今 回 修 正 (B)	17,000	△1,200	△1,100	△1,100
増 減 額 (B-A)	△1,000	△700	△700	△600
増 減 率	△5.6	—	—	—
前期(平成 19 年 1 月期中間)実績	17,744	△458	△421	△319

(2) 単体

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	13,000	△300	△200	△500
今 回 修 正 (B)	13,000	△700	△600	△1,000
増 減 額 (B-A)	—	△400	△400	△500
増 減 率	—	—	—	—
前期(平成 19 年 1 月期中間)実績	13,175	△670	△607	△472

(3) 修正の理由

当中間連結会計期間の業績につきましては、新規業態事業の売上高は順調に推移したものの、百貨店販路及び専門店販路の売上不振により、売上高は前回予想に比べ下回る結果となりました。また天候要因に加え、プロパー販売の減少による粗利益率の悪化等の為、営業利益は前回予想を大幅に下回る結果となりました。

さらに、単体の営業利益につきましても、上記と同様の理由により、前回予想を下回る結果となりました。

2. 平成 20 年 1 月期通期業績予想数値の修正（平成 19 年 2 月 1 日～平成 20 年 1 月 31 日）

(1) 連結

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	39,000	200	300	200
今回修正予想(B)	38,000	△500	△300	△400
増減額(B-A)	△1,000	△700	△600	△600
増減率	△2.6	—	—	—
前期(平成 19 年 1 月期)実績	37,529	△232	122	172

(2) 単体

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	29,000	0	100	△100
今回修正予想(B)	28,500	△400	△200	△600
増減額(B-A)	△500	△400	△300	△500
増減率	△1.7	—	—	—
前期(平成 19 年 1 月期)実績	28,365	△453	△74	108

(3) 修正の理由

通期の連結及び単体の業績につきましては、上半期の業績が悪化したことにより、前回予想を下回る見込となりました。

※ 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上